

2015/2/5

アジア太平洋広告祭 (ADFEST)「ヤング・ロータス・ワークショップ2015」 国内選考会で読売広告社と n + n が組んだチームが 日本代表に選出！

第18回アジア太平洋広告祭(ADFEST)に先駆けて行われた、「ヤング・ロータス・ワークショップ2015」国内選考審査会において(株)読売広告社と(株)エヌプラスエヌが組んだチームが金賞を受賞し、日本代表に選出されましたので報告致します。

3月にタイのパタヤで実施されるアジア太平洋広告祭(ADFEST)(3月19日～21日)に先だち、28歳以下のクリエイター2人1組で参加するコンペティション「第11回ヤング・ロータス・ワークショップ」が開催されます(3月16日～18日)。その日本代表を選出する国内選考審査会(主催:全広連、「プレアドフェスト」実行委員会)が、2月2日、虎ノ門ヒルズフォーラムにて行われ、応募117チームの中から、読売広告社 都市生活研究所の市川晴華、エヌプラスエヌの前田尚子ペアが金賞を受賞。ファイナリストとして、マーケティングデザイン局の糠塚まりや、第3アカウントユニット第1営業局の中山南チームがノミネート。読売広告社として5チーム中2チームが表彰されました。

日本代表に選ばれた市川・前田ペアは、来月タイのパタヤで行われるワークショップに参加し、アジア各国代表チーム達と共に3日間の講義を受けた後、課題作品の制作コンペティションに挑みます。優勝チームはADFESTにて表彰され、世界に発信されます。

◆金賞受賞チーム代表(読売広告社 都市生活研究所 市川晴華)のコメント

このようなチャンスをいただき、大変光栄に思います。多くの方々の支えがあったからこそ、得られた結果だと心から感じております。予選課題は『日本への観光誘致&フォローキャンペーン』でした。私たちは“新しい日本の価値発見”を勝ちどころと考え、何度もプレストを重ねました。今回の受賞で、「アイデアは自由で平等」ということを改めて感じ、広告の楽しさを再認識できました。本番でも臆せず、私たちのユニークネスを世界にぶつけたいと思います。

本件に関するお問い合わせ先